2019 年度　愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3301052	社会教育課題研究Ⅱ Study on Challenges of Social Education II	王　倩然	専門	1	選択	4 年 後期

科目の概要

本科目は、前期に開講される「社会教育課題研究I」を発展させた授業内容とする。社会教育は学校外の教育を指しているが、現在のように社会が大きく変動していく時代には、学校教育だけでは不十分であり、社会教育の重要性は大きい。しかし、現代日本の社会教育は、大きな困難を抱えている。新自由主義的な政策のもとで、社会教育の公的責任が弱まって民間に委託されたり、自治体の財政赤字のもとで社会教育行政が縮小し、社会教育職員が削減されたりしている。講義では、このような状況にある現代日本の社会教育の課題と今後の可能性について考えたい。講義を踏まえて、社会教育に関する課題研究を行う。

学修内容	到達目標
① 社会教育、特に地域社会教育と生涯学習の歴史や理念を学ぶ。 ② 社会教育および生涯学習の政策、施設、職員についての理解を深める。 ③ 現在の社会教育が抱える課題を学び、自身の問題意識を深化する。 ④ 自身が考える社会教育の課題を自ら考察する。 ⑤ 社会教育の課題を克服する方策を検討する。	① 社会教育、特に地域社会教育と生涯学習の歴史や理念について理解している。 ② 社会教育および生涯学習の政策、施設、職員について理解している。 ③ 現在の社会教育が抱える課題を学び、自身の問題意識を探究できている。 ④ 自身が考える社会教育の課題を自ら考察している。 ⑤ 社会教育の課題を克服する方策を検討、明示できている。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	学生自身で社会教育、地域社会における課題を発見し、考察を行う。
	働きかけ力	
	実行力	講義で取り上げた内容について、文献やインターネット等で調べ、社会教育の実態や課題を探究する。また、自身の身近な施設を訪問し、社会教育の現状を把握する。
考え抜く力	課題発見力	各回の講義を理解し、そこから自ら課題を発見する力を養う。課題を発見し深めるためのレポートを作成する。
	計画力	
	創造力	講義や授業でのディスカッション等を踏まえ、自ら社会教育事業を検討する。
チームで働く力	発信力	授業中のグループ討論やレポート等を通し、自らの考えを積極的に発信する。
	傾聴力	他者の意見を聞きつつ、考察を行い、課題を発見し、ディスカッションを行う。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	指示された内容に則ってレポートをまとめる。授業中の指示を踏まえて、ディスカッションを行う。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

【テキスト】指定せず、授業で資料を配布する。
【参考文献】末本誠・松田武雄編著『新版 生涯学習と地域社会教育』春風社、2010 年
松田武雄編著『現代の社会教育と生涯学習』九州大学出版会、2013 年
その他の参考書については、授業で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：他の社会教育主事資格関係の科目と関連している。
資格との関連：社会教育主事（任用資格）

学修上の助言	受講生とのルール
社会の動きや社会に存在している課題に関心を持ち、自分でそれに関連する情報を調べること。集めてきた情報の信憑性を判断する能力を身につけてほしい。また、身近にある社会教育施設を訪問、利用してほしい。	集中講義であるため、原則として授業にはすべて出席すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート	60	①	✓	テーマ設定がしっかりとなされているか。 自身の問題意識についてわかりやすく書かれているか。 講義やディスカッションを通して発見した課題が指摘されているか。 発見した課題を踏まえ、課題の克服のための方策が検討、明示できているか。 結論のなかで、社会教育の今後の展望が明示されているか。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 （口頭・実技）	10	①	✓	グループディスカッションの結果がまとめられるか。 自分で調べてきたことについて分析ができるのか。 結論と問題意識がはっきりしているのか。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 （学修態度）	10	①	✓	（主体性） ・授業時のディスカッションに積極的に参加している。 （実行力） ・自身のテーマや計画に基づいて文献収集・分析や調査を行い、レポートにまとめることができる。 （課題発見力） ・授業でのディスカッションや文献分析などにおいて、自身の考える課題を見出し、それを明示することができる。 （創造力） ・自身のテーマを決め、しっかりと文献分析や調査を行い、レポートにその結果を明示できている。 （発信力） ・自身の考えや疑問点などをはっきりと示している。 （傾聴力） ・他の履修生の報告を聞き、質疑や討論に参加している。 （規律性） ・遅刻、無断欠席、学修意欲の欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・調査を行う際には、調査先に迷惑をかけず、倫理規定を守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	20	①	✓	・授業中のリアクションペーパーについて、授業のポイントを押さえ、自身の意見や考えが書かれているか ・リアクションペーパーの内容について、他の学生の意見も踏まえながら授業内で発表、議論できているか。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS（秀）及びA（優）の基準	到達レベルB（良）の基準
A 評価の基準は、①社会教育の基礎を理解したうえで、自身の考える社会教育の課題、在り方を明確化するとともに、自身でテーマ設定し、文献調査やフィールドワークを行っている、②その成果をわかりやすくレポートにまとめている、③授業では、積極的に議論に参加し、発言する、④総括として、授業での討論や自身の調査を振り返りつつ、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表し、レポートにまとめる、の4点を満たしているかである。 S 評価の基準は、A 評価の基準に加え、自身の身近な社会教育の現状、課題を把握し、本授業で学んだことをいかに自身の生活のなかの社会教育に活かすことができるかについて考察できているか、という点から評価を行う。	社会教育の基礎を理解したうえで、社会教育の課題、在り方を考え、テーマを設定し、文献調査やフィールドワークを行う。その成果をレポートにまとめる。授業では議論に参加し、発言する。総括として、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表、レポートにまとめる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1回 /	「オリエンテーション」 授業の概要と進め方について説明する。	講義	現在の社会教育の概要を把握し、自身の考える社会教育の課題を検討することができている。	(予習)これまで履修した社会教育の授業を振り返る。 (復習)1 回目の授業内容を振り返る。	(予習復習合計) 60	課題発見力 発信力
2回 /	「社会教育・生涯学習とは何か」 社会教育学、生涯学習論について理解を深める。	講義	現在の社会教育の概要を把握し、自身の考える社会教育の課題を検討することができている。	(予習)これまで履修した社会教育の授業を振り返る。 (復習)2 回目の授業内容を振り返る。	60	課題発見力
3回 /	「子どもの学校外教育①」 子育て支援と社会教育について考える。	講義	子育て支援と社会教育の現状を把握し、課題の掘り起こしができている。	(予習)子育て支援と社会教育の資料、ニュースを調べる。 (復習)子育て支援と社会教育の実践について調べる。	60	課題発見力
4回 /	「子どもの学校外教育②」 子どもの学校外教育と福祉について考察する。	講義	子どもの学校外教育と福祉について理解できている。	(予習)子どもの学校外教育と福祉についての資料、ニュースを調べる。 (復習)子どもの学校外教育と福祉についての身近な事例を調べる。	60	課題発見力
5回 /	「青年期の課題と現代社会教育の役割」 青年期の教育をめぐる問題について考察する。	講義	青年期の概念と青年期教育の課題について理解できている。	(予習)青年期に関する資料、ニュースを調べる (復習)青年期教育の課題に社会教育が果たす役割の実践を調べる。	60	課題発見力
6回 /	「学校教育と社会教育の連携・協同①」 「学社連携・融合」の概念と実践について理解し、その課題を考察する。	講義	「学社連携・融合」の概念と実践について理解し、その課題を考えることができている。	(予習)学校と家庭、地域の連携の事例を調べる。 (復習)岡崎市や愛知県における事例を調べる。	60	課題発見力
7回 /	「成人女性の学習と男女共同参画社会」 ジェンダーの課題を理解した上で、現在の日本におけるジェンダーや女性の問題にはどのようなものがあるか、社会教育の場でどのような取組みがあるのかについて考える。	講義	現在の日本におけるジェンダーや女性の問題にはどのようなものがあるか、社会教育の場でどのような取組みがあるのかについて理解できている。	(予習)日本の女性が置かれた状況や問題について調べる。 (復習)社会教育における女性の活動事例について調べる。	60	課題発見力
8回 /	「福祉のまちづくりと社会教育①」 高齢者の学びについて、事例を通し考察する。	講義	高齢者の学びについて理解できている。	(予習)現在の高齢者に関わる課題について調べる。 (復習)自身の身近な地域における高齢者の学習の事例を調べる。	60	課題発見力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9回 /	「福祉のまちづくりと社会教育②」 障がい者の学びについて考える。	講義	障がい者の学びについて理解できている。	(予習)現在の障がい者をめぐる課題について調べる。 (復習)自身の身近な地域における障がい者の学習の事例を調べる。	60	課題発見力
10回 /	「参画型社会を支える市民の学び①」 大学と地域の連携による地域社会教育の創造について考える。	講義	大学の現状を把握し、大学と地域の連携による地域社会教育の創造について理解できている。	(予習)自身の所属する大学と地域の連携について調べる。 (復習)その他、身近な大学の事例について調べる。	60	課題発見力
11回 /	「参画型社会を支える市民の学び②」 NPO、NGO活動と市民の学びについて考える。	講義	NPO、NGO 活動と市民の学びについて理解できている。	(予習)インターネットニュースなどで、日本国内のNPO、NGOの活動について調べる。 (復習)NPO、NGO と市民の学びについて調べる。	60	課題発見力
12回 /	「社会的排除の問題と社会教育」 社会的排除とは何かを踏まえ、社会的排除の実態と課題はどのようなものか、社会教育における取組みを考える。	講義	社会的排除の実態と課題はどのようなものか、社会教育における取組みを理解できている。	(予習)自身の考える社会的排除について調べる。 (復習)具体的事例を挙げながら、社会的排除を克服するための方策を検討する。	60	課題発見力
13回 /	「社会教育施設と学習の支援者」 社会教育施設が果たす役割及び課題について理解する。社会教育領域で学習支援者の種類について理解し、学習支援者の役割について考える。	講義	社会教育施設は何があるか、学習支援者の役割は何であろうかについて理解ができている。	(予習)身近の社会教育施設にについて調べる。 (復習)社会教育施設は日常生活において、どのような社会的役割を果たしているのかについて調べる。	60	課題発見力
14回 /	「ワークショップ(1)」 これまでの授業を踏まえてワークショップを行い、社会教育の課題について考える。ワークショップの結果を口頭で発表する。	講義および演習	ワークショップに参加し、自身の考えを積極的に発信できている。	(予習)これまでの授業を振り返り、自身の興味のある社会教育のテーマを設定する。 (復習)レポートの準備をする。	60	課題発見力 発信力
15回 /	「ワークショップ(2)」 これまでの授業を踏まえてワークショップを行い、社会教育の課題について考える。ワークショップの結果を口頭で発表する。	講義および演習	ワークショップに参加し、自身の考えを積極的に発信できている。	(予習)レポートの準備をする。 (復習)授業の総復習を行う。	60	課題発見力 発信力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力